



平成23年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成22年11月1日

上場会社名 日糧製パン株式会社 上場取引所 札
 コード番号 2218 URL http://www.nichiryopan.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉田 勝彦
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 北川 由香里 (TEL) 011(851)8188
 四半期報告書提出予定日 平成22年11月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第2四半期の業績(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第2四半期	8,467	—	103	—	85	—	53	—
22年3月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第2四半期	2 57	—
22年3月期第2四半期	—	—

(注) 平成22年3月期第2四半期につきましては、連結損益計算書を作成し、個別損益計算書を作成していないため、平成22年3月期第2四半期の「経営成績(累計)」は記載しておりません。【添付資料】P.9 「5.補足情報」をご参照ください。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第2四半期	12,428	2,504	20.1	119 41
22年3月期	12,424	2,449	19.7	116 78

(参考) 自己資本 23年3月期第2四半期 2,504百万円 22年3月期 2,449百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	—	—	0 00	0 00
23年3月期	—	—	—	—	—
23年3月期(予想)	—	—	—	0 00	0 00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 平成23年3月期の業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭
通期	17,400	△0.6	250	13.7	200	5.1	150	△8.5	7	15

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有

② ①以外の変更 : 有

(注) 「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

23年3月期2Q	21,039,480株	22年3月期	21,039,480株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

23年3月期2Q	69,357株	22年3月期	67,480株
----------	---------	--------	---------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

23年3月期2Q	20,970,749株	22年3月期2Q	20,974,405株
----------	-------------	----------	-------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）2ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する定性的情報	P. 2
(2) 財政状態に関する定性的情報	P. 2
(3) 業績予想に関する定性的情報	P. 2
2. その他の情報	P. 3
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	P. 3
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	P. 3
3. 四半期財務諸表	P. 4
(1) 四半期貸借対照表	P. 4
(2) 四半期損益計算書	P. 6
【第2四半期累計期間】	
(3) 継続企業の前提に関する注記	P. 7
(4) セグメント情報	P. 7
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 7
(6) 損益計算書に関する注記	P. 7
4. (参考) 四半期財務諸表(連結)	P. 8
四半期連結損益計算書	P. 8
(第2四半期連結累計期間)	
5. 補足情報	P. 9

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国経済の一般環境は、堅調であった輸出の伸びが後半になって鈍化してきたことに加え、雇用情勢や個人消費の改善が進まず、景気は緩やかな回復基調を維持しつつも次第に減速感が広まってまいりました。

当業界におきましても、所得環境の回復の遅れから食品の消費支出が伸び悩み、お客様の購買姿勢が慎重さを増して製品の低価格化が進行するなかで、今夏の猛暑による消費減退も加わり、大変厳しい状況が続きました。

このような情勢下において、当社は経営理念に掲げる「北海道の活性化に貢献する“真の北海道企業”への成長」をめざし、「おいしく、北海道らしく。」というキャッチコピーのもと、製品の品質とサービスの向上をめざし企業活動を進めてまいりました。主要な施策といたしまして、食パン「絹艶(きぬつや)」や菓子パン「北の国のベーカリー」シリーズといった主力製品のリニューアルを実施するとともに、菓子パン「ラブラブサンド」や、「ようかんパン」のバラエティ化、お買い得菓子パン類の投入や、お得意先チェーン限定製品の展開などによって売上の拡大に努めてまいりました。

一方、食品安全衛生の観点からAIBフードセーフティに関する工場審査の継続更新や、職場の環境改善と意識改革を進め、製品ロスや不良品の削減に向けた取り組みの強化を行ってまいりました。

しかしながら、主力製品の一部は堅調に推移したものの、新製品が伸び悩むとともに、今夏の猛暑の影響が著しく、食パン及び和洋菓子類の需要が大きく落ち込んだことから、売上面では前年同期を下回ることとなりました。また、利益面におきましても、売上の減少に伴う生産性の低下を経費節減で吸収するには至らず、前年同期を大きく下回る結果となりました。

以上により、当第2四半期累計期間の業績は、売上高8,467百万円(対前年同期比98.2%)、営業利益103百万円(対前年同期比65.4%)、経常利益85百万円(対前年同期比57.9%)、四半期純利益53百万円(対前年同期比56.5%)となりました。

(なお、前年同四半期の連結経営成績との比較を参考事項として記載しております。)

(2) 財政状態に関する定性的情報

四半期貸借対照表の内容について、一部季節的要因による変動はありますが、前事業年度末との比較で重要な変動はありません。

(3) 業績予想に関する定性的情報

今後の見通しといたしましては、アメリカの景気回復をはじめ、世界経済全体の成長が鈍化し、急激な円高の影響も懸念されることから、国内の景気は再び閉塞感が広がり、消費全体が冷え込んだまま、当面足踏み状態が続くものと思われまます。

当業界におきましても、お客様の低価格志向が続くなかで販売競争がさらに激しくなり、生産性の悪化や労働コストの上昇が懸念されるなど、厳しい経営環境が続くことが予想されます。

当社といたしましては、食パン「絹艶」をはじめとする主力製品の売上確保に加え、さる10月1日に発売いたしました、低価格でお買い得感のある食パン「みんなの食パンANN(アン)」の積極的な販売活動によって北海道のパン食普及と需要の拡大をはかるとともに、「スイーツ大福」類の展開を通じて低迷する和菓子の需要回復をめざしてまいりたいと存じます。併せて、営業・販売体制の見直し、生産現場を中心とした職場の改善活動強化による品質の改善および生産ロスの低減を徹底し、業績の回復に向けて、全社を挙げ取り組んでまいりる所存であります。

なお、平成23年3月期の業績予想につきましては、平成22年10月25日に「業績予想の修正に関するお知らせ」を開示し、期初の公表予想数値を修正しております。

2. その他の情報

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第2四半期会計期間末の貸倒実績率等が前事業年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前事業年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

棚卸資産の評価方法

棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額等を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

固定資産の減価償却の算定方法

定率法を採用している資産については、事業年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前事業年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合には、前事業年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっており、前事業年度末以降に経営環境等に著しい変化があるか、又は、一時差異等の発生状況に著しい変化が認められた場合には、前事業年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングに当該著しい変化の影響を加味したものを利用する方法によっております。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

「資産除去債務に関する会計基準」等の適用

当第1四半期会計期間から平成20年3月31日公表の「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準委員会 企業会計基準第18号)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準委員会 企業会計基準適用指針第21号)を適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

従来、法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法については、四半期末時点で加味する加減算項目や税額控除項目、及び一時差異等の発生状況の把握を年度決算と同様の方法で行っていましたが、四半期会計期間の税引前当期純利益に対する税金費用を平準化させること及び四半期決算における迅速性に対応するために、第1四半期会計期間より、法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法に、また繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前事業年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合には、前事業年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によることとし、前事業年度末以降に経営環境等に著しい変化があるか、又は、一時差異等の発生状況に著しい変化が認められた場合には、前事業年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングに当該著しい変化の影響を加味したものを利用する方法によることと変更しております。

この結果、従来の方法によった場合と比べ、法人税等の算定方法に関する変更の影響額は軽微であり、繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法に関する変更については、当第2四半期累計期間の四半期純利益が3,362千円増加しております。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成22年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,610,147	1,356,048
受取手形及び売掛金	1,786,908	1,983,637
商品及び製品	39,824	40,317
仕掛品	25,838	20,151
原材料及び貯蔵品	135,384	134,191
繰延税金資産	121,903	142,494
その他	175,236	69,845
貸倒引当金	△1,145	△2,240
流動資産合計	3,894,097	3,744,444
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,477,554	1,466,831
機械及び装置(純額)	1,504,284	1,556,490
土地	4,672,216	4,737,683
その他(純額)	206,526	227,282
有形固定資産合計	7,860,582	7,988,288
無形固定資産		
その他	80,995	80,334
無形固定資産合計	80,995	80,334
投資その他の資産		
投資有価証券	351,626	392,341
投資不動産(純額)	108,967	108,967
繰延税金資産	57,488	46,858
その他	81,407	75,198
貸倒引当金	△6,791	△12,146
投資その他の資産合計	592,698	611,220
固定資産合計	8,534,276	8,679,843
資産合計	12,428,373	12,424,288

(単位:千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成22年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,074,386	2,097,934
短期借入金	1,650,000	1,650,000
1年内返済予定の長期借入金	732,900	740,950
未払法人税等	16,181	21,907
賞与引当金	155,224	164,152
その他	778,474	905,517
流動負債合計	5,407,166	5,580,461
固定負債		
長期借入金	1,432,900	1,250,900
再評価に係る繰延税金負債	1,583,259	1,609,231
退職給付引当金	1,465,769	1,501,883
役員退職慰労引当金	34,092	31,220
その他	1,145	1,445
固定負債合計	4,517,165	4,394,679
負債合計	9,924,332	9,975,141
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,051,974	1,051,974
利益剰余金	△889,652	△981,821
自己株式	△8,062	△7,899
株主資本合計	154,258	62,253
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	42,313	41,078
土地再評価差額金	2,307,468	2,345,816
評価・換算差額等合計	2,349,782	2,386,894
純資産合計	2,504,041	2,449,147
負債純資産合計	12,428,373	12,424,288

(2) 四半期損益計算書

【第2四半期累計期間】

(単位：千円)

	当第2四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
売上高	8,467,312
売上原価	6,451,124
売上総利益	2,016,188
販売費及び一般管理費	
販売費	1,543,767
一般管理費	368,471
販売費及び一般管理費合計	1,912,238
営業利益	103,949
営業外収益	
受取利息	199
受取配当金	4,592
受取賃貸料	2,897
その他	6,774
営業外収益合計	14,463
営業外費用	
支払利息	33,159
その他	4
営業外費用合計	33,164
経常利益	85,248
特別利益	
固定資産売却益	4,807
貸倒引当金戻入額	1,905
特別利益合計	6,713
特別損失	
固定資産売却損	450
固定資産除却損	15,058
投資有価証券売却損	6,188
投資有価証券評価損	14,902
特別損失合計	36,599
税引前四半期純利益	55,362
法人税、住民税及び事業税	6,922
法人税等調整額	△5,381
法人税等合計	1,541
四半期純利益	53,821

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報

(追加情報)

当第1四半期会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

当社は、食品関連事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 損益計算書に関する注記

固定資産除却損には撤去・解体費用が含まれております。

4. (参考) 四半期財務諸表(連結)

「参考資料」

平成22年3月期第2四半期につきましては、連結財務諸表を作成しているため「参考資料」として、四半期連結損益計算書を記載しております。

四半期連結損益計算書

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	8,625,909
売上原価	6,623,824
売上総利益	2,002,084
販売費及び一般管理費	
販売費	1,511,815
一般管理費	331,317
販売費及び一般管理費合計	1,843,133
営業利益	158,951
営業外収益	
受取利息	241
受取配当金	4,926
受取分配金	9,199
その他	9,451
営業外収益合計	23,818
営業外費用	
支払利息	35,563
その他	5
営業外費用合計	35,568
経常利益	147,201
特別利益	
固定資産売却益	922
投資有価証券売却益	17,023
特別利益合計	17,946
特別損失	
固定資産売却損	361
固定資産除却損	43,930
投資有価証券評価損	43,378
特別損失合計	87,670
税金等調整前四半期純利益	77,477
法人税、住民税及び事業税	7,025
法人税等調整額	△24,843
法人税等合計	△17,817
四半期純利益	95,295

5. 補足情報

当社は平成22年2月1日付で連結子会社である株式会社ノースデリカを吸収合併いたしました。よって、当社は連結子会社がありませんので、当第2四半期累計期間は四半期連結財務諸表を作成しておりませんが、前第2四半期の連結経営成績と当第2四半期の個別経営成績との比較が有用でありますので、以下に記載いたします(販売実績も同様であります)。

平成23年3月期第2四半期の業績(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

経営成績(累計)

(百万円未満切捨て、%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第2四半期(個別)	8,467	△1.8	103	△34.6	85	△42.1	53	△43.5
22年3月期第2四半期(連結)	8,625	△3.0	158	△31.1	147	△31.2	95	△45.6

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
23年3月期第2四半期(個別)	2	57	—	—
22年3月期第2四半期(連結)	4	54	—	—

(販売の状況)

販売実績

(単位:千円未満切捨て)

項目	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)		当第2四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)		比較増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
		%		%		%
食パン	1,307,528	15.2	1,192,964	14.1	△114,564	△8.8
菓子パン	3,511,617	40.7	3,575,317	42.2	63,700	1.8
和菓子	1,657,280	19.2	1,635,453	19.3	△21,826	△1.3
洋菓子	504,588	5.8	457,257	5.4	△47,330	△9.4
調理パン・米飯類	1,482,700	17.2	1,442,655	17.0	△40,045	△2.7
その他	162,194	1.9	163,663	2.0	1,469	0.9
合計	8,625,909	100.0	8,467,312	100.0	△158,596	△1.8